

2022年度 第3回9月 早慶上理・難関国公立大模試 地理B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字、脱字、漢字間違いは0点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は0点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ0点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については、漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について、スロヴェニア⇄スロベニア、パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には、適宜加点。ただし、満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 字数オーバーは0点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合、論理が合わない場合などは1点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で、下線が引き忘れてある場合は1問につき1点減点。（指定語句は、解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は、指定語句抜けの減点は不要。）

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合、その部分は0点だが、減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は、内容的に整合性が取れていればよく、字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	<u>□□□□</u> x	事実誤認あり
3	<u>□□□□</u> ?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

4 設問別加点要素

- 1) 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」と「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

2

問2 記号：1点 名称：2点 (※「記号と名称」のセットで順不同)
d：テンシャン山脈／天山山脈

問5 3点 ※ [指定語句] 分裂 ホットスポット 2つ全て 下線付きで使用
かつてインド亜大陸が巨大大陸より分裂して移動した際、ホットスポットの付近を通過したときの火山活動により形成された。

【加点ポイント】

- ① (インド半島の起源) インド亜大陸が巨大大陸より分裂した
／ゴンドワナ大陸から分裂した →1点
- ② ①は移動してきた／①の乗ったプレートが動いて今の場所に来た
／インド半島は移動してきてユーラシア大陸にぶつかってできた →1点
- ③ (②の移動の際に) ホットスポットの付近を通過した
／一時期はホットスポット上にあった
／インド洋南西部のホットスポットが溶岩台地を形成した →1点

4

問5 8点

入管法の改正によって日系人に限って非熟練労働者の在留が認められるようになったため、日系人が多く住むブラジルから就業機会を求めて多数の労働者が日本へ流入したから。

【加点ポイント】

- ① (Xの移動元) ブラジル →1点
- ② (Xの移動先) 日本 →1点
- ③ (移動の背景) ・入管法の改正／出入国管理法の改正 →2点
・日系人に限る／日系人が流入した／日系3世まで →2点
・非熟練労働者の在留が認められた／単純労働が認められた →2点
(※「労働が認められた／就労できた」のみ →1点)

問6 5点

中東の産油国において石油収入を背景に都市開発が進められたため、多数の建設労働者が流入したから。

【加点ポイント】

- ①（移動の主体）建設労働者／建築関係の職を求めて →2点
（※「労働者／職を求めた／男性労働者／出稼ぎ」などのみ →1点）
- ②（①の背景）都市開発が進められた／リゾート開発が進んだ
／高層ビルや人工島がつくられた →2点
- ③（②の背景）石油収入／オイルマネー／石油による経済発展 →1点